

IUHW



The gazette of International University of Health and Welfare

平成15年
4月25日 発行

特集

入学式
卒業式
大学院長
交代のご挨拶



発行：学校法人国際医療福祉大学
編集：広報委員会 TEL 0287-24-3000
ホームページアドレス <http://www.iuhw.ac.jp>

平成十五年度

入学式

(平成十五年 四月八日)

学長式辞

多くの入学生に向けて、
谷修一学長が、歓迎と激励の言葉を述べました。



谷 修一 学長

本年もまた多数の入学者を迎えることは、大学としても大きな喜びであり、多くの皆様が我が大学を選ばれ、保健医療福祉の専門職を目指すという選択をされたことに對し、教職員を代表して皆様を心から歓迎しお祝いを申し上げます。

二十一世紀の初めの三十年は、人口が減少する高齢社会であります。今後更に高齢化が進み、二十五年には人口に占める六五歳以上の人の比率は、二九%になると予測され、「健康と福祉」が高い価値を持つこれからの時代の中で、医療や福祉は、今後とも成長が見込まれる領域であり、現在の社会の中で最も求められているものの一つでもあります。

新入生の皆さんはこれからの四年間、自分が目指す専門学科についての知識や技術を習得することは必須であります。専門学科はもとより自分が興味を持つ事柄につ

念を全ての学科に共通したものととして掲げてきております。

この基本理念の柱とも言わべき大切な理想が、「共に生きる社会を築く」ということです。「共に生きる社会」ということは、病める人も障害を持つ人も健康な人も、お互いの人間としての尊厳を認めあつて生きる社会です。

医療や福祉の現場で患者さんや障害者の方に対して、最先端の知識や技術の応用という過程の中で、忘れていけないことは、人間の命の尊さ、あるいは人に対する思いやりということだと思います。これからの勉学の日々において、専門技術や学問の基礎を身に付けるとともに、常に命の尊さを思い、生きる幸せを感じる心を養っていただきたいと思ひます。

次に、この度、大学院に入学された皆さんにお祝いを申し上げます。今年大学院に入学された方のうち、多くの方が既に社会人として様々な分野で活躍されています。私は、皆さんのような社会経験を積んだ方が、改めて大学で学び、研究をするということが、いざ我が国の大学教育の中で主流になるのではないかと、この意味を持つております。また、学部で学んだとは違った意味での意欲と向上心を持った方々を通じて、恐らくは、大学の教職員にも大きな刺激と力を与えていただくことになるものと期待しております。

ここで、ご臨席のご父兄の皆様へ一言申し上げます。国際医療福祉大学は、学生のためにあつてこそ将来にわたつて発展すると考えており、私たち教職員一同は、そのためには、学生たちが入学前に期待していたことが満たされ達成できるかどうか、教育の内容やそれを支援する体制が十分かどうか、学生が満足するかどうか、大変重要なことであると考えております。その一環として、十四年度の大学の自己点検評価においては、学生生活の実態把握を主要な課題として取り上げ、授業はもとより、学生の日常生活、地域の方との交流などについての調査を行い、学生の満足度の度合い、不満足の原因などを調べ、今後の教育に生かしていくことにしております。医療福祉に関する専門職としての教育の結果、国家試験合格率、就職率とも、現在までのところ、他の大学に比べより高い成績を収めてはおります。しかし、一方において、留年する者や、退学者も毎年少なからずいることも事実であり、これは、教育する側にとつて

いて勉強してください。大学は、教育はもとより、施設や設備、必要な情報の提供など、あらゆる機会を通じて皆さんの学習のための支援をいたします。同時に、人と直に接し、病氣や障害と向きあふ仕事ですから、豊かな人間性を養うという意味からも、自分の専門以外のことに ついて幅広い教養を持つことも大切です。

国際医療福祉大学は、医療や福祉の高度化に伴い、いわゆるコメディカルと呼ばれる医療や福祉の専門職の地位の向上と高度な教育、そして将来における優れた指導者が必要という時代の要請に応える大きな夢をもつて、九年前に開学いたしました。一言でいえば、医療、福祉を専門に学び、研究し、そして専門職を教育する大学であります。

大学院は、保健医療学専攻と医療福祉経営専攻に分かれ、大田原キャンパス以外に、東京、福岡、そして今年からは熱海にも新しくキャンパスを置くことにいたしました。

また本学の特徴として、大学のキャンパス内に、重症心身障害児と身体障害者のためのリハビリテーションセンターと大学クリニック及び言語聴覚センターを持ち、更に今年三月には痴呆老人のためのグループホームも新設されました。また隣の西那須野町には、国際医療福祉病院、老人保健施設、特別養護老人ホームなどの施設を持ち、更に静岡県熱海市には医学部以外の大学としては初めての本格的な大学附属病院となる附属熱海病院があります。このような医療福祉に関する幅広い関連施設を通じて、学生の皆さんの臨床実習の充実を目指すとともに、教員の先生方にとっては、研究や臨床技術の研鑽の場ともなっております。

学生の教育に関しては、開学以来、「人間中心の大学であること」、「社会に開かれた大学であること」、「そして「国際性を目指した大学であること」の三つの基本理

は、ある意味で、一種の敗北であり申し訳ないことと認めます。反面、もし他の分野で、情熱と努力をそそげる目標が見いだせるなら、ただ漫然と大学生活を送るより新たな道を選ぶことのほうが、むしろ本人のためと思う場合もあり、それはまた、止むを得ないことであることも、ご理解いただきたいと思います。

医療や福祉の専門職として学ぶことは、医療や福祉の現場で、病に苦しむ人、障害に悩む人と同じ目線で、生身の人間として接することができるとかどうかということに尽きると、私は考えております。

改めて申し上げるまでもなく、私たちは、学生の教育にこれからの四年間全力を尽くすつもりであります。ご父兄の皆さんにおかれては、大学に対するご意見、ご要望など、遠慮なくお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

最後に改めて新入生の皆さんに話をしますが、学生生活は大学での授業や勉強だけではなく、友人との交流、好きなスポーツやサークル活動、地域の人々との親睦、学内外でのボランティアへの参加など、この時期に何か一つ打ち込めるものを見出すことは、学業以上に皆さんのこれからの人生にとって大切なことです。

昨年実施した皆さんの先輩である在校生へのアンケート調査によると、六五%の学生が部活動やサークル活動に参加し、それらの活動を通じて得たものとして、七割の学生が友人と答え、次に多かったのが、授業では得られない知識や経験、そして先輩・後輩との人間関係と回答しています。

またボランティア活動については、女性では二人に一人、男性でも三人に一人が何らかのボランティア活動に参加しています。更に約二割の学生が、地域のお祭りやイベント、スポーツやレクリエーション活動などの地域活動に参加していると回答しています。

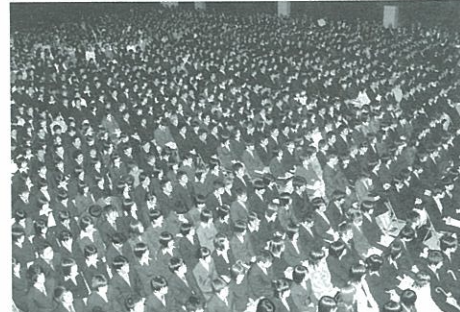
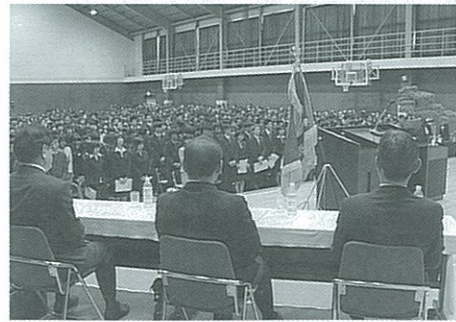
皆さんが先輩たちを見習って、学業以外の活動に積極的に参加し、教室では学べない多くのことに挑戦することを期待しております。

私は、今ここに並んでいる皆さんが、四年後の卒業式でも一人も欠けることのないようにと心から願っております。

これからの四年間を実りあるものとするよう、皆さんのご健闘を期待して、私の歓迎の挨拶とします。



平成十五年四月八日に第九回入学式が行われました。
あいにくの天気でしたが、入学生の表情は晴れわたっているように見えました。



平成十四年度 卒業式

来賓式辞、多くの方々から お祝いの言葉を頂きました。

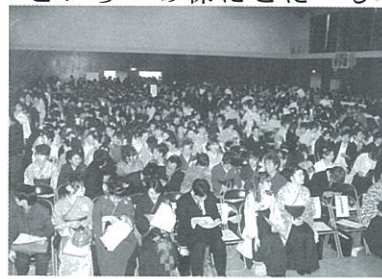
栃木県知事 福田昭夫様
(栃木県保健福祉部長 麻生利正様)

平成十四年度国際医療福祉大学の卒業式に当たり一言お祝いの言葉を申し上げます。卒業生の皆さんはそれぞれの専門職の道を志し、目標に向かって勉学に励み、本日でたく卒業式を迎えられました。新たな未来への決意と抱負を胸に社会人となる皆さんに心からお祝いを申し上げます。

少子高齢化の急速な進行、慢性疾患の増加など疾病構造の変化、医学・医療技術の進歩に伴う医療の高度化・専門化、健康に対する意識の高まり等により、社会環境は大きく変化し、特に保健・医療・福祉に対する関心や要望はますます多様化しております。

皆さんはこれから保健・医療・福祉を支える次代の担い手としての第一歩を踏み出されるわけですが、これから歩まれる道は決して平坦な道ばかりではありません。母校で学ばれた知識、技術をもとにさらに研鑽を積まれ、人間性豊かな信頼される専門職として活躍されるものと確信をいたしております。

今後とも健康に留意され今日のこの感動を忘れずに二十一世紀の保健・医療・福祉の向上のため、いっそう精進を重ねられます事を期待いたします。祝辞をいたします。



大田原市長 千保一夫様

本日ここに平成十四年度国際医療福祉大学学部卒業式ならびに大学院学位記授与式が挙行されるにあたり一言お祝い申し上げます。

保健学部第五期生五百六十一名、医療福祉学部第三期二百五十一名、大学院修士生五十九名の皆様ご卒業おめでとうございませう。心からお祝い申し上げます。大学院を修了なさる皆様は、長い年月を大田原でお過ごしになられた方もいらっしゃるでしょうが、学部卒業生の大部分の方は四年前にはじめて、関東平野の北端、ここ大田原においでなられたこととしましょう。昔の城下町のたたずまいが幾分か残っておりますが、取り立てて目立つものはないこの町に、戸惑いや心細さを感じながら引越してこられました。

人生でもっとも多感な青春真っ只中の四年間を過ごされた、ここ大田原での思い出は皆様の今後の人生において何度となく、時には淡く時には強烈に蘇ることと思います。ご自分の人生の中でかけがえのない大切な時期であったとしてみじみとわかる時がきます。この大学で学んだものを実社会に生かし、高齢社会の福祉の担い手として存分に活躍され、人々の幸せのために志を全うして下さい。

併せて、皆さんご自身も豊かな人生を歩んでいただきますよう、心からお祈り申し上げまして五万七千大田原市民を代表してのお礼ならびにお祝いの言葉いたします。

大田原赤十字病院院長 古泉桂四郎様

卒業生の皆さん、大学院修了の皆さん、今日はおめでとうございます。それからご父兄の皆さん本当におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

ただいま、ご紹介頂きましたように地元の大田原赤十字病院の院長でございます。実習病院の一つとしてお祝いを申し上げます。

皆さんは、全国各地から当大学の建学の精神であります、「人間中心の大学」「社会に開かれた大学」「国際性を目指す大学」に憧れ、単なる地方の一大学とは違った期待をもって大田原に來られたことと思います。都会の雑踏を離れ、自然環境に恵まれた大学での勉強は皆さんの期待に十分応えてくれたことと思います。これから社会に出て第一線の医療施設や福祉施設などの職場に進出されるわけですが、皆さんの就業を心待ちにしている各地の方々、この大学がいわいる全国区と言われる大学であり、大きな期待を皆様方に対して持つております。どうか自信を持って今日の感激をいつまでも忘れないで、初心忘るべからずの気持ちで期待に答えて頂きたいと思っております。

皆さん自分の顔を、より美しく見せるためには、第一にお化粧、第二に気持ちの若さが、第三には教養の深さが必要です。しかし医療の専門職の顔をより垢抜けたものにするためには、第一に自分の腕に対する自信が必要で、第二に患者に接する明るい笑顔が必要で、第三に思いやりをこめた暖かい言葉が必要といわれます。



ています。どうかこのような顔を持って活躍して下さい。

今日はおめでとうございました。

(古泉院長は平成十五年三月三十一日で院長をご退任されました。)



大学院学位記伝達式

三月十四日、大学院学位授与式の後、十一時三十分よりE棟二〇一教室で大学院学位記伝達式がとりおこなわれました。学部と異なり、大学院は、そのキャンパスが東京、九州など広範囲にわたるため、遠方からお越しただけでない方もいらっしゃると思いますが、多くの修了生の方が初山大学院長から直接、修了証書を手渡されました。

生涯を通じて自己研鑽をしていかなければならない専門職という特性を反映して、修了生の方々の経験、年齢などの幅は広く、拍手する側に回った教員としても、大学院教育の社会での役割を認識させられました。

また、授与される瞬間の写真を撮影し、まくつていた複数の指導教員たちの、まるでカメラ小僧かと見まがうほどの動きにも、指導教員と二人三脚でひとつの論文を仕上げたことへの想いを垣間見る気がいたしました。

初山先生の「研究は継続すること」が重要であるとする研究者としての経験の重みが感じられる最後の挨拶には、修了生の誰もが、この伝達式が単なる通過点であることをかみしめたことでしょう。ぜひ、修了生の方々にこれからも多方面にわたって活躍いただきたいと思っております。

学科別

卒業証書伝達式

看護学科

国家試験合格発表を二週間後に控えた春うららかな日、会場は一斉に花開いたような華やかな着物を着て埋め尽くされた。爽やかなピアノ曲の調べにのって、五回生百二十九名に中西睦子学科長より卒業証書が授与された。

全国で百二十万人の看護職が働く現場では四年制大学卒業の看護師はまだ少数派で周囲の期待が高い。よい人間関係を作り豊かな人脈を育てることがプロフェッショナルの第一歩との訓辞に果立つ緊張感をみせていた。教育後援会幹事森山健三氏は「福祉大魂で仕事不安を超えよう」と激励した。卒業生を代表して大塚麻梨子さんが患者との相互信頼を築いていきたくと決意を表わした。栃木県看護協会会長伊藤正子氏や日本助産師会会長近藤潤子氏、石橋病院院長齊藤弘司氏からの祝電が披露され、三年生男子による応援団が力強いエールを贈った。



作業療法学科

証書を片手に特設壇上に立ち、四年間の思いを一言口にするのであるが、涙や鼻水で言葉にならない。思わずもらい泣きをする場面もあった。巣立ちの際の親の気持ちは計り知れないが、大海原で元気に活躍して欲しいと教員、卒業生、在校生みんなが心に願った一日であった。



平成十五年三月十四日(金曜日)、百七名が平成十四年度卒業生として大卒をあとにしました。この中には、八年かけてこつこつと学び卒業にたどり着いた者も含まれておりました。授与式では、学科長よりひとりひとりに卒業証書が手渡されました。また、学科の教員からお祝いのことはや卒業生二名から四年間の学生生活等を交えた話がありました。学科長からは、とくに女性に継続的な就業につとめ、積極的に社会参加・貢献をするよう激励のお話がありました。担任の古川先生からは、頑張りすぎずに仕事に取り組むようアドバイスがありました。卒業後、多くの者が現場でサービスの提供を担うことになっており、今後の活躍が期待されます。

理学療法学科

三月十四日(金)、午前三時よりL棟一階にて理学療法学科の卒業証書授与式が盛大に行われた。在校生の心のこもったサウンドイッチが父兄や卒業生のお腹を満たし、第四期生制作ビデオ、中国へ出張中の西條先生のビデオレターや教員からの餞の一言が会を盛り上げた。オックスフォード大の帽子とガウンに身を包んだ学科長より、一人一人に卒業証書が授与された。



言語聴覚学科

式が始まる前までは友人とはしゃぎながら写真撮影を撮りあっていた卒業生も式が始まり身近に迫る国家試験に向けての激励や言語聴覚士としてのこれからの活躍を期待されていることを聞くにつれて「学生」から社会に飛び立つ「おとな」の顔へと変わっていくのが強く感じられました。



伊藤元信学科長より卒業生一人一人証書を

放射線・情報科学科



体育館で行われた卒業式の後、本学科では恒例の祝賀懇談会が行われました。卒業生とご家族の方々と教員が大学生活の思い出話を交わし、華を咲かせておりました。

その後、場所を移して卒業証書伝達式が挙行されました。まず、学科長より卒業生百二十三名の一人ひとりに卒業証書が厳粛に伝達されました。続いて、学科長は式辞で、社会人としての教訓を角界でいう「心・技・体」に例えられ、特に「心」が重要だと付言されました。さらに、来賓としては、栃木県放射線技師会会長赤羽泉先生からは、世の中は厳しい状況にあり、だからこそ若い力に期待していること、ご祝辞をいただきました。また、基礎医学研究センター長嶋田裕之先生は、病理学的な立場より心と体の問題を取りあげられ、時に心と体は別のものであり、何か悩んだときでも悠然と立ち向かって欲しいと、餞の言葉をいただきました。

最後に、卒業生を代表して、東本梓さんが四年間の苦しかったこと、楽しかったことの思いを込めた謝辞を述べ、平成十四年度放射線情報科学科卒業証書伝達式が終了しました。

医療経営管理学科



この日、医療経営管理学科から第三期生が巣立っていきました。卒業証書授与式では、恒例となったゼミごとのイメージソングをBGMに学科長の開原先生から卒業生一人ひとりに学位が授与されました。踊りながら壇上に登場する人、学位書を受け取ってガッツポーズをとる人、握手を求め学科長に手を差し出す人などさまざまでした。また、ステージ上のスクリーンには、BGM同様恒例となった各ゼミの思い出の写真が映し出され、こちらも大いに会場を盛り上げてくれました。卒業生が最後に見せてくれた、ちょっと控え目なユーモアを交えた素晴らしい授与式であったと思います。

病院や福祉施設、民間企業、公務員、そして大学院進学と皆さんの進路はさまざまですが、これからも元氣いっばいに頑張ってください。

医療福祉学科



平成十四年度医療福祉学科の卒業証書伝達式が、百二十四名(欠席七名)の卒業生に対して三月十四日(金)行われました。本学科としては三期生にあたります。大学全体の午前中の卒業式とはまた違った「手作りの伝達式」の雰囲気の中で、一人ひとりの卒業生の表情がよくわかる温かで素敵な伝達式でした。

私たち教員は、卒業生のその様子から多くの印象が得られましたが最も明確に感じられたのは、やはり自らの「将来への希望・期待」と果たすべき社会への働きかけの覚悟です。ではなかつたかと思えます。卒業生の活躍に期待

大学院長交代の挨拶



初山泰弘先生

本大学院は、各分野にわたる医療関連職種を一つの専攻科として、わが国最初の大学院として平成十一年度に発足し、本学の理念に立脚し、二十一世紀の医療・福祉分野で高度な技術と豊かな人間性を備えた、信頼される職能人の育成と、この分野での先駆的な研究成果を挙げることを目標に、この四年間歩を進めてまいりました。

この間、社会人としての経験を持ち、さらに大学院での研修を希望する専門職の方々のために、東京、九州などにサテライトキャンパスを開設、相互交流可能な遠隔授業を開始いたしました。平成十五年四月現在、海外からの留学生をも含め、保健医療学博士前期・後期課程、医療福祉経営の修士課程を合わせて二百五十名を超える院生が各キャンパスで研鑽に努めております。

すでに、在学中に関連学会から成果発表や雑誌への

内容の充実と多様化

大学院は、初山泰弘大学院長の下で創設時から大きな発展を遂げ、これまで五年間の入学人数は四百十八名、現在の在籍人数は約二百五十名にまでなりました。キャンパスも全国に広がり、大田原のみでなく、東京、福岡、柳川で学ぶ社会人学生もあり、また今年からは更に附属熱海病院にもサテライトキャンパスが開設されました。大田原の在籍者数とそれ以外のキャンパスの在籍者数は昨年ほぼ半々でしたが、平成十五年度の入学人数は約五十名に増え、大田原以外のキャンパスが約七十名と大田原以外の在



開原成允先生

籍者数の方が多くなりました。こうした状況に対応して、これからは学生さんが「本学の大学院で学んでよかった」と思うように、内容を一層充実させていく必要があります。また、それと共に、医療・福祉も大きく変貌しつつありますので、大学院教育の理念も再検討する必要があります。この方向はこれから議論していかなければなりません。その方向は、そのひとつの方向は多様化ではないかと私は思っています。

現在のように学問・技術の進歩の早い時代では、技術によって社会に貢献していく本学卒業生にとって生涯学習は最も重要な課題です。そのためにもこの大学院が役に立つこともあるのではないかと考えています。今後のご支援をお願いします。

大学院修士論文発表会

平成十五年二月十九日(水)、修士論文発表会が行われた。会場は大田原校と各サテライト校を結ぶ遠隔授業教室AおよびB。各分野の教員に、その日の一言を書いてもらった。

◆看護学分野：十名が二年間の努力の成果を発表しました。各自の学びが内容にこめられていました。個別の話し合いが凝縮・破棄・変形・不変し各人の個性・人柄が象徴された。投入された莫大なエネルギーが故に七分間は無残な結果となり今後の課題になった。研究論文としての基準が必ずしも合意されない中でしかし看護実践を変革する資産蓄積への道の遠さを感じた。

◆理学療法学分野：発表者は最多を誇る二十六名。臨床的視点から運動療法上の問題解決をめざすテーマが多数を占めた。動物を使った基礎研究や、施設入所者の動態など社会的視点にたつ研究も含まれていた。

◆作業療法学分野：七名が発表。日中を臥床して過ごす高齢者の思いのありか(井口)、統合失調症者の課題遂行過程の特徴(濫井)、音楽を用いた作業療法は痴呆性高齢者に笑顔をもたらすか(黒崎)、普通通教育における教員・保健医療専門職間の連携の実態と理想(高橋)、軽度老人性痴呆症者の顔の認識力(新川)、その他が発表された。(鎌倉矩子)

◆言語聴覚学分野：朝倉円さんが「Working Memory容量に意味処理の複雑さが及ぼす影響」リーディングスパンテストからの分析」と題した研究を発表した。ことばを話し、理解することには記憶が重要な役割を果たしている。本論文は、記憶容量を測定し、その容量限界が人間の言語にどのように作用するかを検討した、優れた論文であった。(藤田郁代)

◆医療福祉学分野：第一期生の大学院生六名が発表。医療機関の経営・組織管理に関わるものから、医療技術の経済評価、退院計画のサポートシステム等、バラエティに富んだテーマが発表された。論文発表会の最後に初山院長が、経営やコストに関する報告があり時代の変化を感じた、という趣旨のコメントをされましたが、医療経営管理分野の報告・研究が当大学院の幅をさらに広げるのに貢献できるのではないかと考えました。(田村誠)

学生会長挨拶

私は、今年度学生会会長を務めることになりました医療福祉学科二年の福田梨絵です。私達学生会は、本学の学生の充実した大学生活を作り上げるため、学生の意見や要望を集め実現に向けて活動しています。その際、学生と大学、地域の方々との連携を図つたりしています。また、ツアーを計画し学科の枠を超えた交流の場を作つたりもします。我が校は、医療と福祉という、人々の生命や生活を豊かにする仕事につく学生が集まる大学です。その学校を豊かにすることは、未来の医療福祉の発展につながると私は思います。

学生会では、今年度一緒に活動してくれる方を募集しています。とてもやりがいがあり、楽しいのでぜひ入ってください。活動場所はK-17です。お気軽にお訪ねください。医療福祉学科二年 福田梨絵

同窓会より

新入学のみなさん、ご入学おめでとうございます。みなさんが保健医療福祉の専門職を目指すという選択をされたことに、卒業生、同窓会「マロニエ会」を代表して、みなさんを心から歓迎し、お祝い申し上げます。

同窓会「マロニエ会」は、会員相互の親睦を図るとともに、医療福祉の向上に努め、母校の発展に寄与する事業を行っていくことを目指しています。本会は卒業してからではなく、在学中から準会員として入会していただき、マロニエ会主催行事、各学科会活動、支部会活動など、様々な事業活動に参加できるようにしています。

三月に卒業したばかりの第五期生の学科代議員も交え、平成十五年度のマロニエ会事業計画についても、概要が決まりました。前年度に引き続き、若い卒業生の興味の中心である所属学科会の支援を重点に、今年度からの新事業も展開していきたいと思っております。

同窓会「マロニエ会」企画・運営委員長 下井俊典

学生相談室

場所 L棟1階
相談申込み・問い合わせ
直接来室または
相談室 TEL 0287-24-3099 まで
詳細は相談室パンフレットをご覧ください。
お気軽にご利用下さい。

過去1年間に以下の質問にあるような出来事が起こっている場合に該当欄に○印をつけて下さい。

- | | |
|-----------------------------------|----------|
| (1) 家族の誰かが亡くなった | () (77) |
| (2) 親友が亡くなった | () (68) |
| (3) 病気や怪我をした | () (65) |
| (4) 休みの過ごし方が変わった(遊びの内容とか時間の使い方) | () (57) |
| (5) 家族の誰かが大病したり、生活の習慣を変えた | () (56) |
| (6) 家の経済状態が急に良くなったり悪くなった | () (53) |
| (7) 転校した | () (50) |
| (8) 家族が増えた(兄弟が生まれたり、祖父母との同居など) | () (50) |
| (9) 入学した | () (50) |
| (10) 価値観が最近大きく変わった | () (50) |
| (11) 学校や部活で責任のある立場になった | () (40) |
| (12) 個人的な生活パターンが変わった(友達、服装、クラブなど) | () (45) |
| (13) 学校の先生とトラブルを起こしたり、うまくいかなかった | () (44) |
| (14) 学校に行きながら同時にアルバイトをした | () (43) |
| (15) 転居したり、住宅状況が変わった | () (42) |
| (16) 大変大きな目標を達成した(試験、部活など) | () (49) |
| (17) アルバイト先の上司とトラブルがあった | () (38) |
| (18) 睡眠のパターンが大きく変化した(睡眠時間など) | () (34) |
| (19) 休みの間に旅行した | () (33) |
| (20) 食事のパターンが大きく変化した(量や時間など) | () (30) |
| (21) 家族の人数が減った(兄弟の結婚や父親の単身赴任など) | () (26) |
| (22) ちょっとした違法行為をした(飲酒、信号無視など) | () (22) |

○を付けた問いの右端()の数値を合計して下さい。それがあなたのライフイベント・スケールの得点です。

ライフイベント・スケールの全合計点は1022点です。この点数はライフチェンジ・ユニットと呼ばれ、この1年間生活の変化に慣れるのにどのくらい努力を要したかを示しています。前にも述べたように個人によってストレスの受け止め方は違うので一概には言えませんが、以下におよその目安を示しておきます。

300点以上	多大な生活上の変化	健康を害する可能性大
250～299点	要注意の生活上の変化	病気に対する抵抗力の減少
200～249点	中等度の生活上の変化	うつ状態をきたす可能性あり
150～199点	わずかな生活上の変化	時々気分がめいる程度
149～000点	ちょっとした生活上の変化	健康の維持に問題なし

ストレスという言葉をみなさんご存知だと思います。ストレスというとかく悪いイメージがあり、無い方がいいと思われがちですが、ストレスには、不快な、より害のあるものだけではなく、人にとって快く、成長や発達に必要なストレスがあります。ストレスはわれわれの生活にとつてある程度は必要なものといえます。

その受け止め方や抵抗力は個人によって大きな差があり、同様のストレスであっても人によって大きな差が感じない場合もあります。しかし、不快・快いいずれのストレスの場合でも、その対処のために私たちの身体に何らかの働きがおこり影響があることは確かです。四月、入学や新学期などみなさんにとって変化の多い時期で、ご自分でも気付かぬうちにストレスがたまっていることもあります。ストレスとうまく付き合っていくためには自分のストレスについて早めに気付くことが大切です。次に載せる「ライフイベントスケール」(ナカニシヤ出版「自分さがしの心理学」より抜粋)で自分のストレスについて振り返ってみてはいかがでしょうか。

気になることや心配なことがありましたら誰かに相談をしてみてはいかがでしょうか。学生相談室でもどんな小さなことでも相談に応じますのでいらしてください。

平成十四年度教員研修会

教員研修会は授業や研究その他の場
に於いて教員が共通に抱える問題や悩
みについて共に考え、討論して情報交換
を行うことを目的に年一回開催してい
る。今年度は平成十五年二月二十日
(木)に午前十時三十分から午後四時
迄、昨年度に引き続いてシンポジウム
方式で行った。参加者は例年八十名程
度であったが今回は百名程度を得た。
研修テーマ「学科の教育の工夫と課
題」について、飯沼一浩教務委員長を座
長として各学科代表のシンポジスト八
名が所属の学科の教育の工夫と課題に
ついて学科独自の題目で発表した。発
表は組織順に行ってもらい、発表終了
後一時間の質疑応答を経て最後に谷修
一学長の総括で終了した。
各学科の発表題目、発表者、概略は次
の通りであった。

「看護学の臨地実習を中心に」
：中西睦子、看護学科長
患者と直接接する多岐に渡る看護職の病
院実習への取り組みに対する工夫と課題
「理学療法学科の教育の工夫と課題」
：丸山仁司、理学療法学科長
人間形成も含めた教育に対する種々の工
夫・取り組み、成功・失敗例と課題
「作業療法学科の臨地実習の考え方」
：杉原素子、作業療法学科長
多数の学生を多くの実習先で実習させる
ための実習方法の分析・評価と対策
「臨床実習について」
：城間将江、言語聴覚学科助教授
言語聴覚療法の実習法の現状と課題
「視機能療法学科の教育の工夫と課題」
：山田徹人、視機能療法学科助教授
開設一年目の学科の今後の教育の取り組
みに対する工夫と課題

「トリプル百作戦」
：飯沼一浩、放射線・情報科学科長
卒業率、国家試験合格率、就職率の三部門
の達成率一〇〇%を目指した教育への取
り組みと課題
「実践を重んじる教育」
：小出大介、医療経営管理学科助教授
現状認識を基に目的を持たせて進めてい
く教育法に対する工夫と課題
「医療福祉学科の教育の工夫と課題」
：鈴木五郎、医療福祉学科長
学生の現状認識を基に学生の個性に応じ
て進めていく教育に対する工夫と課題
今回のテーマは昨年のテーマ「学力・教
養の低下と専門職教育」を発展させた内
容となり、学科間の情報の共有化が更に
進み大学の総合力が向上した印象を受け
た。このことより種々の面での情報の共
有化で各学科の更なる発展及び大学の総
合力向上の期待感を持った一日であった。
(田之上司)

教員紹介

①所属・職位②生年月日③出身校④専門分野⑤直前の勤め先
⑥主要著書または論文⑦本校における担当科目⑧趣味



水巻中正 (ミズマキ チュウセイ)
①医療経営管理学科、学科長
②1941年
③同志社大学経済学部
④経済学専攻
⑤読売新聞社編集局社会保障部長
⑥「崩壊する楽天国」「厚生省研究」
「厚生労働省の挑戦」

⑦社会保障論、社会保障行政論、福祉経営論、
非営利組織マネジメント論
⑧囲碁、ゴルフ、読書



大平章子 (オオヒラ アヤコ)
①保健学部言語聴覚学科 助教授
②1953年11月14日
③学習院大学大学院人文科学研究科
(国立身体障害者
リハビリテーションセンター・学院)
④発声発語障害学

⑤明倫短期大学専攻科
⑥舌広範囲切除症例の構音動態について
⑦発声発語障害学
⑧読書



河原崎やす子
(カワサキ ヤスコ)
①語学教育センター・助教授
②1951年2月11日
③カリフォルニア大学
ロサンゼルス校(UCLA)大学院
④アジア系アメリカ研究

⑤群馬バース学園短期大学
⑥『アジア系アメリカ文学—記憶と創造』
(共著、大阪教育図書)

⑦英語講読、LL英語
⑧音楽鑑賞、旅行



河野 眞 (コウノ マコト)
①作業療法学科 助手
②1966.4.22
③国立療養所東京病院附属
リハビリテーション学院
④精神機能系障害リハビリ
テーション領域における国際協力

⑤青年海外協力隊 マラウィ隊員
⑥なし
⑦臨床教育
⑧なし

大学来訪者 (2002年度後期)

10/ 9 (水) 大田原市立西原小学校児童
10/12 (火) 東京女子医科大学、協和中央病院
10/22 (火) 株式会社新日本化学
10/24 (木) なすの日中友好を進める会
11/ 1 (金) 茨城県立下妻第二高等学校生徒
11/ 7 (木) 矢板市立矢板中学校生徒
11/14 (木) Gold Coast Institute of TAFE
11/15 (金) 共立サエラ、防衛医科大学
11/18 (月) JICAケニア研修生
11/19 (火) 大田原市市議会議員
11/25 (月) 茨城県医療福祉協議会県西支部

11/26 (火) 栃木県高等学校教育研究会保健養護部会、
NTTコミュニケーションズ
12/ 5 (木) 日本大学、九州看護福祉大学
12/13 (金) 東京大学
1/16 (木) 拠点都市バスツアー
1/24 (金) 国立保健医療科学院
1/28 (火) 神戸学院大学
2/15 (土) 自治医科大学
2/18 (火) 徳島大学
2/19 (水) 芳賀赤十字病院、福岡県大川市議会議員
2/25 (火) 東京医科大学

平成15年度学年歴

4/ 8 (火) 入学式
4/ 9 (水) } オリエンテーション
4/10 (木) }
4/11 (金) }
4/14 (月) 前期授業開始
5/ 1 (木) 大学創立記念日
5/30 (金) 前期前半終了
5/31 (土) 体育祭
7/15 (火) 前期授業終了
7/16 (水) 前期試験開始 (7日間)
7/25 (金) 前期試験終了
7/26 (土) 大学説明会 (予定)
7/28 (月) 夏期休暇開始
7/30 (水) 大学説明会 (予定)
8/30 (土) 大学説明会 (予定)
9/ 1 (月) 実習・補講期間開始
9/26 (金) 夏期休暇終了 実習・補講期間終了

9/29 (月) 後期授業開始
10/ 1 (水) 月曜の授業実施
10/17 (金) }
10/18 (土) } 大学祭期間 (終日休講)
10/19 (日) }
10/20 (月) }
11/14 (金) 後期前半終了 (火～金)
11/17 (月) 後期前半終了 (月)
12/22 (月) 年内授業終了
12/24 (水) 冬期休暇開始
1/ 7 (水) 授業開始
1/16 (金) 午後休講 (センター入試前日)
1/20 (火) 後期授業終了、月曜の授業実施
1/21 (水) 後期試験開始 (7日間)
1/29 (木) 後期試験終了
2/ 2 (月) 実習・補講期間開始
2/27 (金) 実習・補講期間終了
3/ 1 (月) 春期休暇開始
3/12 (金) 卒業式

入試課より

平成15年度の入試の結果は以下の通りです。

学科名	志願者	入学者
看護学科	1033人	128人
理学療法学科	1464人	103人
作業療法学科	636人	102人
言語聴覚学科	411人	102人
視機能療法学科	191人	50人
放射線・情報科学科	647人	128人
医療経営管理学科	327人	139人
医療福祉学科	505人	162人

イブニングタイム公開講座、開講

国際医療福祉大学では、毎年恒例となりました地域の方々を対象とする「イブニングタイム公開講座」を開講いたします。今年度は次の内容で実施いたします。どなたでも聴講できますので奮ってご参加下さい。

テーマ：医療の倫理

趣 旨：一般市民のほか、病院職員、医療福祉関係学
科学生などを広く対象とし、患者の権利や個
人の自己決定の尊重について考える機会とする。

期 日：平成15年5月21日～7月9日
毎週水曜日、午後6時30分～午後7時30分

会 場：国際医療福祉大学 大講義室(F101)

受講料：全8回3,000円(事前登録)、1回500円

- 第1回<5月21日(水)>「日本のナースが大切にしているもの」
中西 睦子(国際医療福祉大学保健学部教授・看護学科長)
第2回<5月28日(水)>「日本の医療と患者」
星野 一正(京都大学名誉教授)
第3回<6月4日(水)>「闘病中の患者・家族が直面する葛藤への対応」
清水 哲郎(東北大学文学部教授)
第4回<6月11日(水)>「人権意識の違い—日本の患者・7ヵ国の患者—」
日高 陵好(国際医療福祉大学保健学部講師)
第5回<6月18日(水)>「女性の健康運動がめざすもの」
江幡 芳枝(国際医療福祉大学保健学部教授)
第6回<6月25日(水)>「医療・福祉の連携に倫理の課題を探る」
大島 實(国際医療福祉大学医療福祉学部教授)
第7回<7月2日(水)>「臨終を看とるとき」
渡辺 孝子(国際医療福祉大学保健学部教授)
第8回<7月9日(水)>「病院で働く人々の倫理」
森川 功(国際医療福祉大学非常勤講師)

★申込方法：各回ごとに申込受付をいたします。

詳しくは大学ホームページをご覧ください。

★託児サービス：小さなお子さまをお持ちの方も安心して受講できるよう、
託児サービスを実施します。0歳児からお預かりします。
ご希望の方は希望日の前日までに総務課にお申し込み下さい。

★問い合わせ・申込先：〒324-8501 大田原市北金丸2600-1

国際医療福祉大学 事務局 総務課

電話:0287-24-3000 FAX:0287-24-3100

URL:http://www.iuhw.ac.jp

IUHWクイズ第三十六弾

解答

前回のクイズはいかがだったでしょうか。
応募してくれた方、ほぼ全員が正解していました。
さて、その中から見事旅行ギフト券に当選された方は、
医療経営管理学科の野呂緋紗子さんです。おめでとござ
います。
学生証持参の上、1棟学生課窓口までお越し下さい。

解答

- 1、七十五 2、一
3、三 4、千
5、百

★大学院東京サテライトキャンパス移転のお知らせ★

平成十五年二月二十四日、大学院東京サテライトキャンパス、国際医療福祉総合研究所および本学東京事務所は、地下鉄「乃木坂」駅からすぐそばの「アミティ乃木坂ビル」に移転いたしました。

これまで複数のビルに分散しておりました東京における事務所機能を集約するとともに、大学院の教室やゼミ室等のキャンパススペースを大幅に拡充し、東京における大学院教育・生涯教育の拠点としての機能と、国際医療福祉総合研究所の機能をより一層充実させることが可能となりました。

また入試相談コーナーも常設しており、本学の受験を考えている方々が気軽に立ち寄れる場所にもなっています。

地下鉄「乃木坂」駅のほか、「青山一丁目」駅、「六本木」駅にも近接しており、たいへん交通至便な場所ですので、ぜひお気軽にお立ち寄り下さい。



《ACCESS》

住所：〒107-0062

東京都港区南青山 1-24-1 アミティ乃木坂

電話：03-3475-7710（代表）

FAX : 03-3475-7709

*電話、FAX 番号は従前と変更はございません。

最寄駅：

- 営団地下鉄千代田線
「乃木坂」駅 徒歩 1 分
- 営団地下鉄日比谷線、都営大江戸線
「六本木」駅 徒歩 5 分
- 営団地下鉄銀座線、営団半蔵門線、都営大江戸線
「青山一丁目」駅 徒歩 7 分



冬の間は寒い日々が続きいつ春が来るのやらと思いましたが、ようやく暖くなり始め、これからの木々の芽生えが楽しみです。

今回は卒業式、入学式が特集でしたが、やはりこの時期は人の出会いと別れの時期なのだなあとつくづく思います。良き出会い、良き別れのためにも日々のつながりを大切にしていきたいものです。編集作業をする中でも良き出会いはあり、多くの親切に接することができました。そして人と人とのつながりはすばらしいものだと思えました。これからもこのひと時、ひと時を大切に、感謝していきたいと思います。

理学療法学科 石井博之

I UHWクイズ ～第37弾～

今回は漢字の読み方に関するクイズです。日本語は本当に奥深く、その漢字からは想像も出来ない言葉が色々あります。今回はほんの少し勉強してみたいと思います。

解答用紙の所定の欄に書き込みのうえ、事務局窓口外側にあるメールボックスへ投函して下さい。正解者の中から抽選で1名の方に旅行ギフト券をプレゼントします。締め切りは5月30日までです。

問題 1、「サボテン」を漢字で書くとどのようになるでしょうか。

ア、仙人掌 イ、躑躅 ウ、石楠花 エ、蒲公英

問題 2、「ひばり」を漢字で書くとどのようになるでしょうか。

ア、家鴨 イ、不如歸 ウ、百舌鳥 エ、雲雀

- 解答用紙

- 学籍番号

- 名前

- ## ● 解答

- 解習
- 問題 1

- ## 問題 2